

市制施行 20 周年記念

# 第10回久慈あまちゃん マラソン大会



9月28日、第10回目を迎えたあまちゃんマラソン大会が開催されました。参加者は過去最多の1628人。北海道や熊本、オーストラリアなど全国から集まったランナーが、秋晴れの空の下、潮風を背に海沿いのコースを走りました。

MCはよしもと岩手住みます芸人のアンダーエイジ。ゲストランナーには、パリ2024パラリンピック競技大会トライアスロン競技に出場した米岡選手と競技パートナーで大船渡市出身の寺澤光介選手、市出身で第95回箱根駅伝出場の中村拳梧さんを迎えました。沿道からは市内中学校、高等学校吹奏楽部の演奏やチアダンスチームCherishのダンスがランナーを後押し。沿道に立つ人も多く、温かい声援が送られました。



## 記念講演会を開催

マラソン大会の前日27日、ゲストランナーの米岡選手と寺澤選手を講師に迎え、講演会を開催しました。テーマは「共生型社会とスポーツ」。対談形式で、体を動かしたいという思いからパラスポーツにつながるきっかけや競技への向き合い方などを語りました。

米岡選手は「障害の有無や性別、年齢に関わらず、やりたいと思ったら気軽にスポーツをやれる社会が理想。挑戦することで人となりが変わり、見える景色や世界が変わります。やりたいと思ったらぜひチャレンジしてみてください」と思いを伝えました。



笑顔で語る米岡選手(左)と寺澤選手

地元で楽しく走れた  
海外の人や日本各地から訪れた人とコミュニケーションを取り、わくわくしながら走りました。こうして生まれ育った地元がにぎわい、自分も大会に参加できて楽しかったです。



ゲストランナー  
中村 拳梧さん

温かい雰囲気が好き  
沿道からの応援が多く、生徒の吹奏楽やチアなどがコース中であって力になります。ランナーも楽しく走っていて、大会の温かい雰囲気が好きです。これからも参加したいです。



第1回から毎回参加  
小笠原 勝則さん(右)